

フクシマ連帯キャラバンに参加して

関東地方横浜支部日本高速分会
青年部員 白石 啓太

今回フクシマ連帯キャラバンに初めて参加させていただきました。日程は2025年3月12日~3月15日の4日間で、1日目の結団式、2、3日目のフィールドワーク、4日目の街宣-署名活動、パルセいいざかで開催された「2025 原発のない福島を!県民大集会」、解散式の全工程に参加させていただきました。

東日本大震災から14年経っており、メディアやネットでしか福島の復興について情報を得ていなかったの、復興は進んでいると思っていました。原発に対しても恐怖心や関心を持っていなかったのが本音です。

実際に福島県に来させていただき、自分自身で見て・聞いて・肌で触れて今までの考え方を改めさせられました。まずは線量のせいで復興が全然進んでいない事にメディアで報じられている情報とのギャップを物凄く感じました。未だに14年前被災した状態で、かなりの損壊が進んでいる家や木が薙ぎ倒されたまま放置されていたり、帰還困難区域が未だに残っている等まだまだ復興とはかけ離れていました。

なぜ震災から14年経っても復興が進まないのか?住んでいた人が戻らないのか?と考えた時に、やはり原発事故が一番の原因だという事を理解しました。「人間と核は共存できない」とはその通りで、幾ら安定的な電力が供給されても天災や戦争で被害を受けたら尊い命・居住地・コミュニティも失い、そこに住んでいたと差別的扱いを受けたと言う福島の方々の悲痛な思いをお聞きすると二度と同じ事故を起こしてはいけないと思います。地震大国でもある日本で、原発全てが廃炉作業を完了し、安心して暮らせる日が来るまで脱原発!という声を上げ続けていこうと強く思いました。

一人では微力なので、関東に戻っても職場や家族、周りの方々にも伝えていき思いや考えを共有して繋げていきたいと思っています。

この4日間で、全国の皆様と深く団結できた事もとても貴重な時間でした!最後にキャラバンを迎え入れて頂き、計画・視察・運営していただいた東北地方の方々には深く感謝申し上げます。